

B1FY-6571-01

バックアップ キャビネット

取扱説明書

はじめに

このたびは、弊社のバックアップキャビネット（以降、本装置と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

1999年11月

電波障害の防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標一覧

Microsoft、Windows、Windows NT、MS、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
そのほかのすべての商標および製品名は、それぞれの所有者の資産です。

複製、転載を禁止します

このマニュアルには、秘密情報が含まれています。発行元の許可なく、このマニュアルの記載内容を複製または転載して社外に提供することを禁止します。

All rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 1999

安全上の注意

本装置およびそのオプション装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。



△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は感電注意）が示されています。



⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。



●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が示されています。

万一、異常が発生したとき



プラグ



- 万一、装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに装置本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、担当営業員または担当保守員に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 異物（水・金属片・液体など）が装置の内部に入った場合は、ただちに装置本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、担当営業員または担当保守員にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本体の取り扱いについて



分解



- 装置を勝手に改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 装置本体のカバーや差し込み口についているカバーは、電池交換やオプション装置の取り付けなど、必要な場合を除いて取り外さないでください。内部の点検、修理は担当営業員または担当保守員にご依頼ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

禁止



- ディスプレイに何も表示できないなど、故障状態で使用しないでください。故障の修理は担当営業員または担当保守員にご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。
- 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 装置の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器、金属物を置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。

禁止



湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。

水気



- 本体に水をかけないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。

プラグ



近くで雷が発生したときは、電源ケーブルやモジュラケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては装置を破壊し、火災の原因となります。

禁止



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルや電源プラグが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

指示



電源プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

アース



アース接続が必要な装置は、電源を入れる前に、必ずアース接続をしてください。アース接続ができない場合は、担当営業員または担当保守員にご相談ください。万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様が悪くて飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

禁止



- 装置の開口部（通風孔など）をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- 装置の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- フロッピーディスク・ICカードなどの差し込み口に指などを入れないでください。けがの原因となります。
- 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。
- 携帯電話などを本体に近づけて使用しないでください。装置が正しく動かなくなります。

指示



- 転倒防止足のある装置は必ず使用してください。振動による転倒でけがをするおそれがあります。
- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となります。

プラグ



- 装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となったり、装置が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
- 長時間装置を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。

指示



- 健康のため、1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。

オプションの取り扱いについて



感電



オプション装置の取り付けや取り外しを行う場合は、装置本体および接続されている装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。



禁止



- 弊社推奨品以外の装置は接続しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 本体に取り付けたモデムカードに、二股のモジュラプラグを接続している場合、空いている差し込み口に指などを入れないでください。感電の原因となります。

本装置を廃棄する時

本装置を廃棄する場合には、産業廃棄物として処理する必要があります。廃棄する場合には、必ず担当営業または専門業者にご連絡ください。

目次

第 1 章 添付品の確認 / 仕様	1
1.1 添付品の確認.....	1
1.2 仕様.....	2
第 2 章 各部の名称と働き	3
2.1 前面.....	3
2.2 背面.....	3
2.3 内部.....	4
第 3 章 設置と接続.....	5
3.1 ラックへの取り付け / 取り外し.....	5
3.1.1 ラックへの取り付け	5
3.1.2 ラックからの取り外し	7
3.2 電源制御の設定.....	8
3.3 ケーブルの接続.....	9
3.4 電源ケーブルの接続.....	11
第 4 章 内蔵オプションの取り付け	13
4.1 搭載可能な内蔵オプション装置.....	14
4.2 搭載条件.....	15
4.3 内蔵オプションの取り付け.....	17
4.4 内蔵オプションの取り外し.....	20
第 5 章 電源ユニットの取り付け / 取り外し.....	21
5.1 電源ユニットの取り付け.....	22
5.2 電源ユニットの取り外し.....	23
5.3 電源ユニットのホットスワップ交換.....	24

第 6 章 トラブルシューティング	25
6.1 トラブル内容.....	25

第 1 章 添付品の確認 / 仕様

この章では、本装置の添付品の確認および仕様について説明します。

1.1 添付品の確認

バックアップキャビネット（以降、本装置）に、以下のものが添付されているかどうか確認してください。

品名	数量	備考
バックアップキャビネット（本体装置）	1	
RCI ケーブル	1	
RCI 分岐コネクタ	1	
電源ケーブル	1	
SCSI Wide-Narrow 変換コネクタ	4	
ラックレール	一式	左右 1 本ずつ
マニュアル（本書）	1	

1.2 仕様

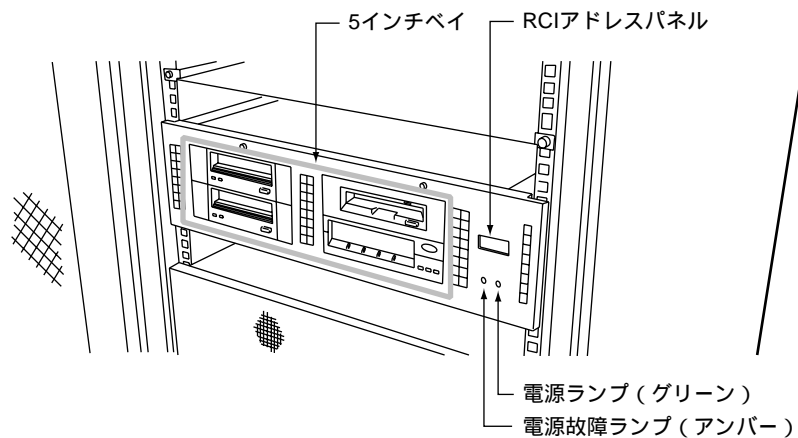
本装置の仕様を以下に示します。

項目	仕様
品名	バックアップキャビネット
型名	GP5-R1BC1
5 インチベイ	4 ベイ
電源ユニット	標準 1 台 / 最大 2 台搭載可能 (冗長電源時)
ホットプラグ対応	電源ユニット
電源制御モード	RCI / Termpower / AC 給電のうち、どれか 1 つを選択
SCSI インタフェース	外部 : Ultra LVD SCSI (最大転送速度 40MB/S) 内部 : Ultra SE SCSI (最大転送速度 40MB/S)
外形寸法 (WxDxH)	484mm x 600mm x 126mm (AC ユニット部含む)
占有ユニット数	3U
質量	基本構成 : 16Kg 最大構成 : 24Kg
入力電圧 / 周波数	AC 100V 50/60Hz
コンセント	二極接地型 (標準 1 個 / 最大 2 個)
消費電力 / 発熱量	最大 300W / 1,080KJ/h
サポート拡張カード	GRANPOWER5000 HS900 オンボード SCSI (LVD)
適用サーバ	GRANPOWER5000 HS900

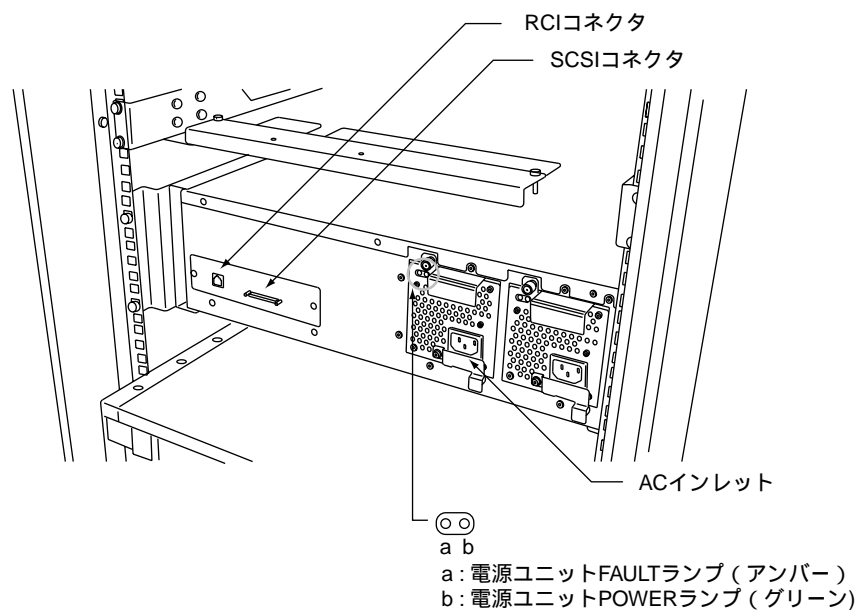
第2章 各部の名称と働き

この章では、本装置の各部の名称と働きを解説しています。

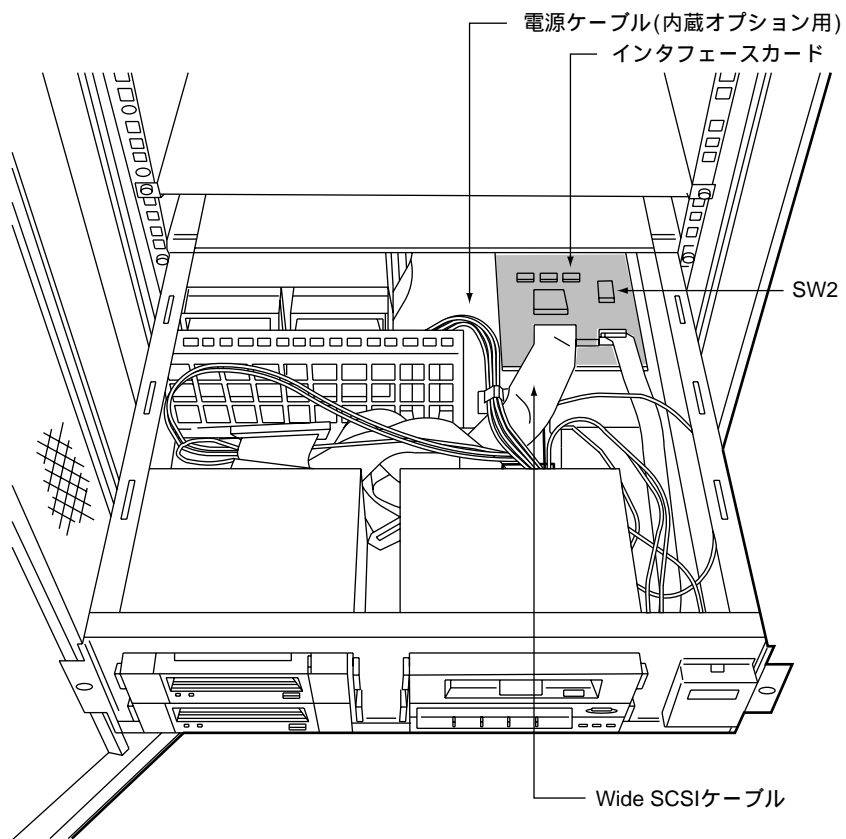
2.1 前面



2.2 背面



2.3 内部



第3章 設置と接続

この章では、本装置のラックへの取り付け/取り外し方法と、本装置とサーバとのケーブル接続方法および電源ケーブル接続方法について解説しています。

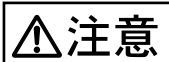
なお、ラックの設置および設置条件については、各サーバの取扱説明書を参照してください。

3.1 ラックへの取り付け/取り外し

ここでは、本装置のラックへの取り付け/取り外し方法について説明します。本装置をラックへ取り付ける、またはラックから取り外す前に以下のことを確認してください。

ラックへの取り付け/取り外し時の注意事項

本装置をラックに取り付けるときは、ラックに転倒防止用スタビライザが取り付けられていることを確認してください。



転倒防止用のスタビライザが取り付けられていることを必ず確認してください。取り付けられていない状態で本装置をラックに搭載すると、ラックが転倒する恐れがあります。

3.1.1 ラックへの取り付け

ラックへの取り付け手順について説明します。

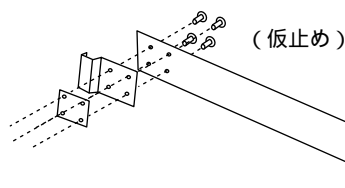
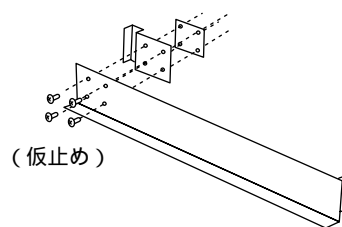
取り付け手順

以下に、本装置のラックへの取り付け手順を示します。

- 1 ラックドアを開け、サーバの電源を切断し、電源ケーブルをサーバから取り外します。

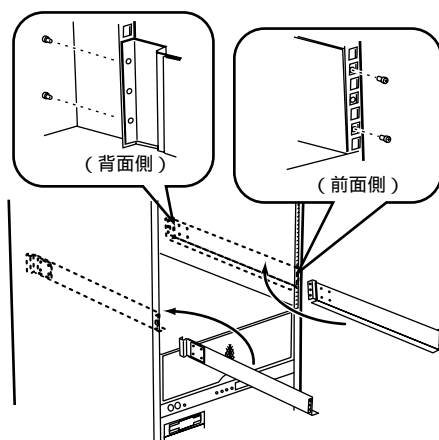
2 本装置取り付け用レールを、仮組み立てします。

レールは次のように、3つの部品があり、番号順に組み立てます。各レールのネジ4本は、軽くしめます(ここで強くしめると、手順4でレールを正しく固定できないおそれがあります)。



3 ラックの背面側から仮組み立てした本装置取り付け用レールを、ラックに取り付けます。

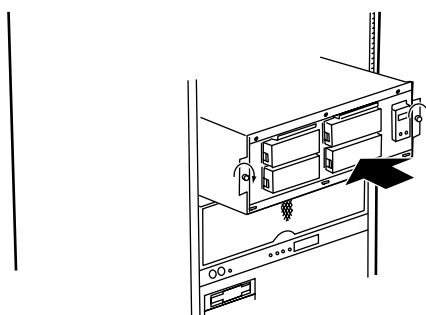
ラックに取り付け、各レールに前面から2本、後面から2本のネジで固定します。



4 手順2で軽くしめたネジをしめ、レールを固定します。

5 本装置を取り付けます。

本装置をラック前面からスライドさせ、前面の2本のネジで固定します。



-
- 6 本装置とサーバを、SCSI ケーブルおよび RCI ケーブルで接続します。
RCI コネクタには、必ず RCI 分岐コネクタを取り付け、RCI 分岐コネクタの一方のコネクタには RCI 終端抵抗を取り付けます。
取り付け方法については、「3.3 ケーブルの接続」(9 ページ)を参照してください。

3.1.2 ラックからの取り外し

本装置をラックから取り外す方法について説明します。

取り外し手順

- 1 本装置および接続されているすべての装置の電源を切り、電源ケーブルを本装置から取り外します。
- 2 「3.1.1 ラックへの取り付け」の手順 2 ~ 6 の逆の手順で取り外します。

3.2 電源制御の設定

バックアップキャビネットの電源制御の設定を行います。
SCSI インタフェースボード上にある設定スイッチ SW2 を以下に示す表のように設定します。

各場合における SW2 の設定

	RCI における電源制御を行う場合（初期設定）	SCSI Termpower による電源制御を行う場合	AC が供給されると無条件で電源を投入する場合
1	OFF	OFF	OFF
2	OFF	OFF	OFF
3	OFF	OFF	ON
4	OFF	ON	ON

3.3 ケーブルの接続

ここでは、本装置とサーバとのケーブル接続方法について説明します。

なお、内蔵オプションと本装置内部の SCSI コネクタとの接続方法については、「4.2 搭載条件」(15 ページ) を参照してください。

注意事項

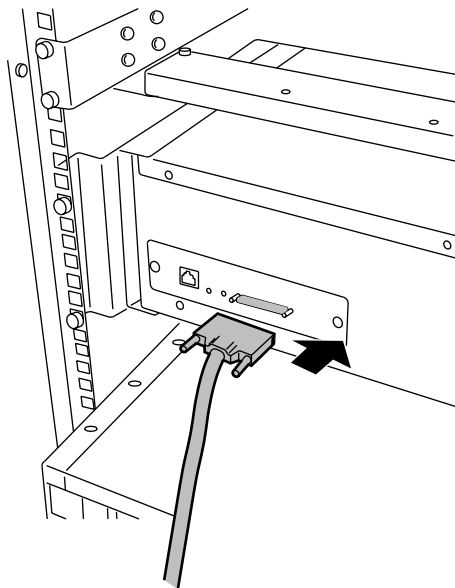


本装置の外部 SCSI インタフェースはディジーチェーン接続はできません。

ケーブル接続手順

以下に、本装置のケーブル接続手順を示します。

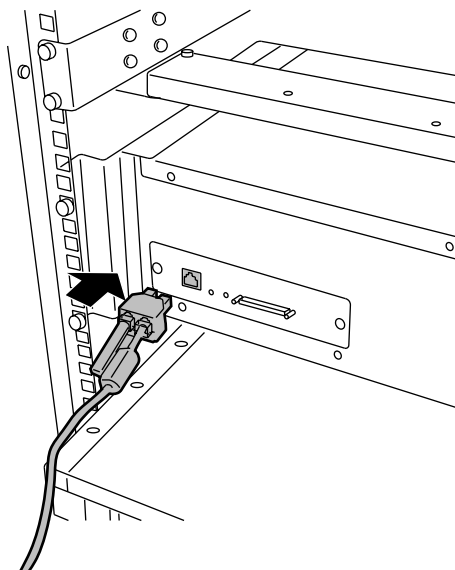
- 1 ラックドアを開け、サーバの電源を切断し、電源ケーブルをサーバから取り外します。
- 2 SCSI ケーブルを、サーバ側に接続します。
SCSI ケーブルのコネクタを、サーバ側の SCSI コネクタに接続します。コネクタのネジをしめます。
- 3 SCSI ケーブルを、本装置側に接続します。
SCSI ケーブルのコネクタを、本装置の SCSI コネクタに接続します。コネクタのネジをしめます。



- 4 RCI ケーブルを、サーバ側に接続します (サーバと RCI 電源連動を行う場合)。
RCI コネクタには、必ず RCI 分岐コネクタを取り付けます。RCI 分岐コネクタの一方のコネクタに RCI 終端抵抗を取り付けます。

- 5 RCIケーブルを、本装置側に接続します（サーバとRCI電源連動を行う場合）。

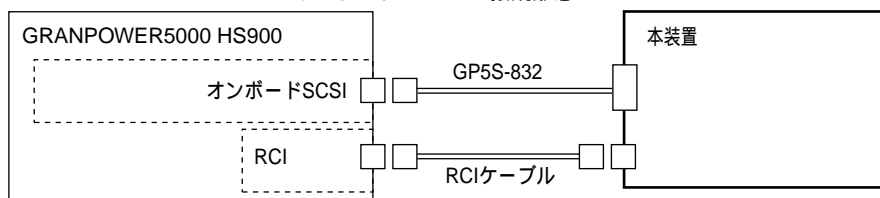
サーバ側と同様にRCI分岐コネクタを取り付けます。本装置が最終端の場合は、RCI分岐コネクタに必ずRCI終端抵抗を取り付けます。



接続形態

以下に、SCSIケーブルおよびRCIケーブルの接続形態図を示します。

<GRANPOWER5000 HS900 オンボードSCSIとの接続形態>



3.4 電源ケーブルの接続

ここでは、本装置の電源ケーブルの接続方法について説明します。

注意事項

⚠ 注意

コンセントについて

本装置の各電源ユニットには、AC ケーブルを接続する必要があります。そのため、電源ユニットの台数分の AC コンセントが必要です。

電源の投入 / 切断

本装置は、接続しているサーバの電源を入れる前に、電源を入れる必要があります。また、サーバの電源を切断する前に、本装置の電源を切断しておく必要があります。

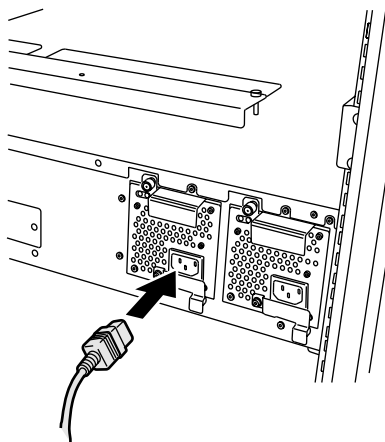
そのため、RCI 接続または Termpower 連動モードで、サーバとの電源連動機能を使用してください。

なお、AC 給電モードの場合は、必ずサーバの電源を入れる前に、本装置の電源を入れてください。また、サーバの電源を切断する前に、本装置の電源を切断してください。

電源ケーブル接続手順

以下に、本装置のケーブル接続手順を示します。

- 1 ラックドアを開け、サーバの電源を切断し、電源ケーブルをサーバから取り外します。
- 2 電源ケーブルを、AC コンセントに接続します。
電源ケーブルを、本装置の AC コンセントに接続します。



第 4 章 内蔵オプションの取り付け

この章は、本装置への内蔵オプションの取り付け方法を解説しています。
なお、内蔵オプションの取り付け/取り外しを行う場合は、担当保守員に依頼してください。



感電



- 内蔵オプションの取り付けや取り外しを行う場合は、本装置および接続している装置の電源を切り、電源ケーブルを本装置から抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。
- 電源ユニットは分解しないでください。感電の原因となります。

禁止

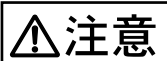


- 弊社の純正品以外のオプションは取り付けしないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 内部のケーブル類や装置を傷つけたり、加工したりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。

指示



- 内蔵オプションの取り付け/取り外しを行う場合は、担当保守員に依頼してください。



- 電源を切った直後は、装置内が熱くなっています。内蔵オプションの取り付けや取り外しを行う場合は、電源を切ったあと 10 分程待ってから、作業を始めてください。
- 内蔵オプションは、基板や半田づけした部分がむきだしになっています。これらの部分は、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、サーバに添付のリストストラップを必ず着用してから作業を行ってください。
- 基板表面や半田づけの部分に触れないように、金具の部分や、基板の縁を持つようにしてください。
- この章で説明している以外の取り付け方や分解を行った場合は、保証の対象外となります。

4.1 搭載可能な内蔵オプション装置

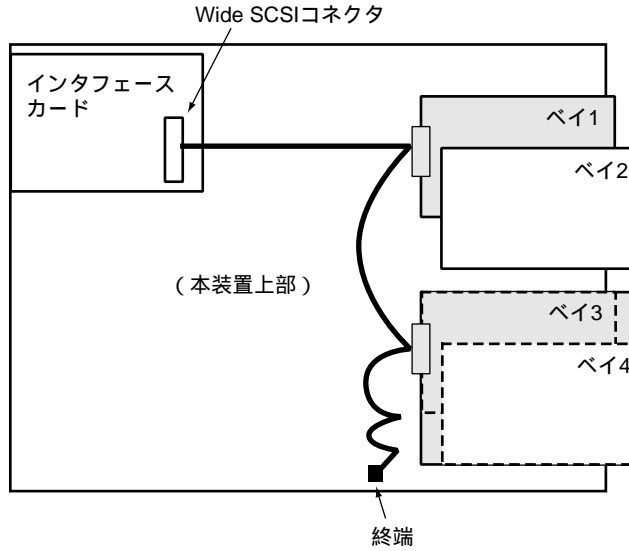
本サーバには、以下の内蔵オプション装置を取り付けることができます。

品名	型番	仕様
内蔵 DLT ユニット	GP5-DL351	35GB DLT、Wide SCSI
内蔵 DLT ユニット	GP5-DL201	20GB DLT、Narrow SCSI
内蔵 DAT ユニット	GP5-DT301	DAT、Narrow SCSI
内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット	GP5-SL501	4GB 1/4 インチ CRMT、Narrow SCSI
内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット	GP5-ML301	20GB 1/4 インチ CRMT、Wide SCSI
内蔵 TRAVAN NS ユニット	GP5-NS201	TRAVAN、Narrow SCSI
内蔵光磁気ディスクユニット	GP5-PD235	光磁気ディスク、Narrow SCSI

また、接続する装置によっては、以下の SCSI ケーブルが必要です。

品名	型番	備考
SCSI ケーブル	GP5S-832	GRANPOWER5000 HS900 のオンボード SCSI に接続する場合に使用。(SCSI4-SCSI4、3m)

<2ベイ装置を増設する場合(ベイ3/4を占有する場合)>



SCSI-ID の設定

搭載するベイによって、以下の SCSI-ID を設定してください。

- 基本設定

ベイ番号	1	2	3	4
SCSI-ID	0	1	2	3

- 2ベイ占有内蔵オプションを搭載する場合 (初期運用時)

ベイ番号	1	2	3	4
SCSI-ID	0		2	3

- 2ベイ占有内蔵オプションを搭載する場合 (追加時)

ベイ番号	1	2	3	4
SCSI-ID	0	1	2	

4.3 内蔵オプションの取り付け

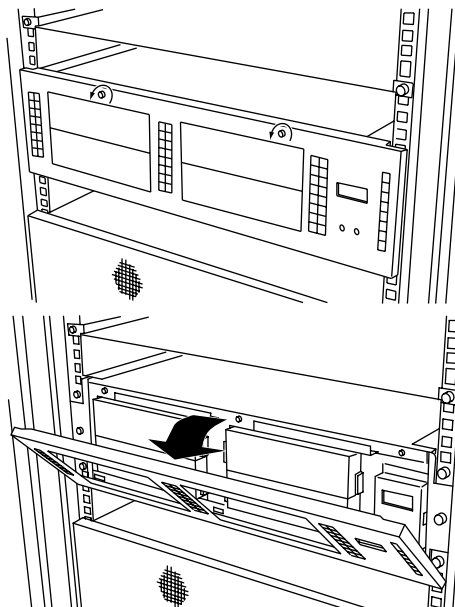
本装置に内蔵オプションを取り付ける前に、本装置からblankユニットを取り外し、取り付ける内蔵オプションにガイドレールを取り付ける必要があります。

ガイドレールの取り付け手順

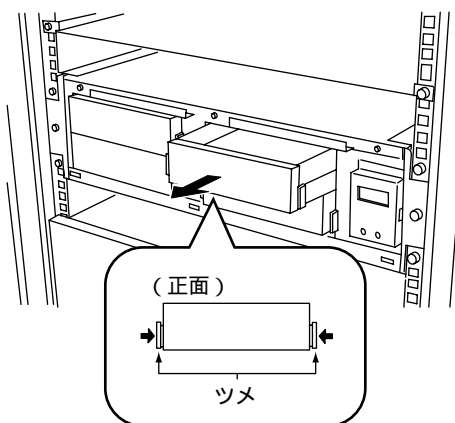
以下に、ガイドレールの取り付け手順を示します。

- 1 ラックドアを開け、サーバおよび本装置の電源を切断し、電源ケーブルを本装置から取り外します。
- 2 本装置のフロントパネルを取り外します。
フロントパネル上部の2個のネジを取り外します。

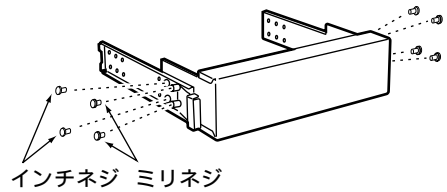
フロントパネルは、上部から手前に外れます。



- 3 取り付けるベイのblankユニットを取り外します。
blankユニットの両側のツメを内側に押しながら、ゆっくりと手前に引き出します。



- 4 ブランクユニットの前面カバーを取り外します。
両側 8 本のネジを取り外して、前
面カバーを取り外します。



- 5 内蔵オプションにガイドレールを取り付けます。
ガイドレールを取り外したときの
ネジ 4 本を使って、取り付けます。

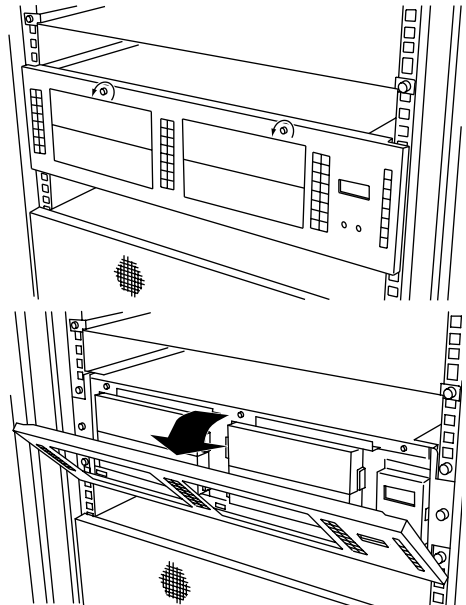


内蔵オプションの取り付け手順

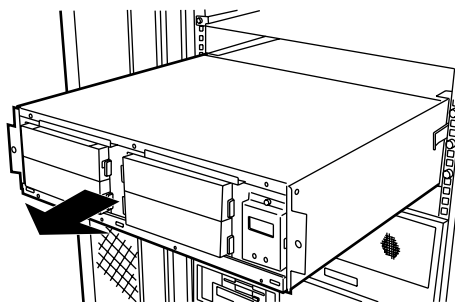
以下に、ガイドレールを取り付けた内蔵オプションを本装置に搭載する手順を示します。

- 1 ラックドアを開け、サーバおよび本装置の電源を切断し、電源ケーブルを本装置から取り外します。
- 2 本装置のフロントパネルを取り外します。
フロントパネル上部の 2 個のネジ
を取り外します。

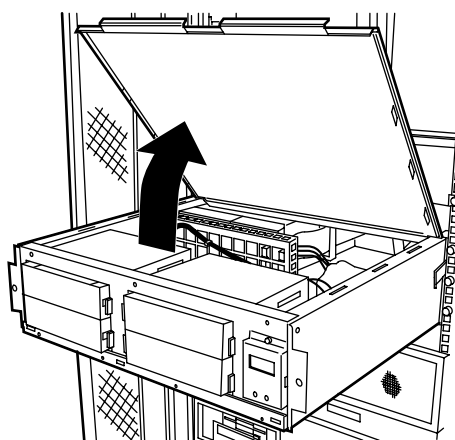
フロントパネルは、上部から手前
に外れます。



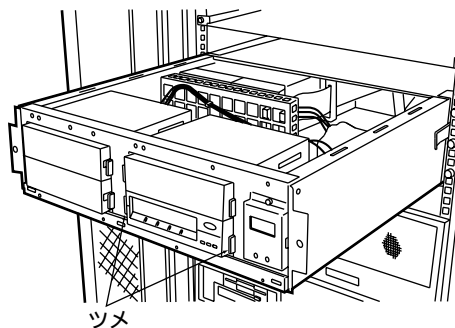
- 3 本装置を手前に引き出します。
ラックと本装置を固定している2
個のネジを取り外します。本装置
を手前に引き出します。



- 4 アッパーカバーを開けます。
アッパーカバーを固定している3
個のネジを取り外します。図に示
すように、アッパーカバーを手前
に引いて上部に開けます。



- 5 内蔵オプションを取り付けます。
搭載するベイに取り付け、カチッ
と音がするまで押し込みます。



- 6 内部 SCSI ケーブル / 電源ケーブルを接続します。
内部 SCSI ケーブルを接続します。「4.2 搭載条件」(15 ページ)を参照して
取り付けてください。次に、電源ケーブルを取り付けます。
- 7 アッパーカバーを閉じ、本装置を元の位置に戻します。
アッパーカバーを閉じ、3 個のネジで固定し、本装置を元の位置に戻して、2
個のネジで固定します。

-
- 8 フロントパネル/電源ケーブルを取り付け、ラックドアを閉じます。



ポイント 使用しないベイには、ブランクユニットを必ず取り付けた状態にしておいてください。取り外した状態にしておくと、本装置内の冷却気流を適正な状態に出来ません。

4.4 内蔵オプションの取り外し

内蔵オプションの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

内蔵オプションの取り外し手順

以下に、取り外し手順を示します。

- 1 「4.3 内蔵オプションの取り付け」の「内蔵オプションの取り付け手順」の手順1～4に従って、アッパーカバーを開けます。
- 2 内部 SCSI ケーブル/電源ケーブルを取り外します。
取り外す内蔵オプションの内部 SCSI ケーブル/電源ケーブルを取り外します。
- 3 内蔵オプションを取り外します。
内蔵オプションの両側のツメを内側に押しながら、ゆっくりと手前に引き出します。
- 4 内蔵オプションのガイドレールをブランクユニットに取り付けます。
取り付け手順については、「4.3 内蔵オプションの取り付け」(17 ページ)の「ガイドレールの取り付け手順」を参照してください。
なお、内部 SCSI ケーブルのケーブル間のコネクタに接続されている内蔵オプションを取り外した場合は、「4.2 搭載条件」(15 ページ)の「SCSI ケーブルの接続」を参照し、ケーブル間のコネクタが空かないように接続するコネクタを変更してください。
- 5 アッパーカバーを閉じ、本装置を元の位置に戻します。
アッパーカバーを閉じ、3 個のネジで固定し、本装置を元の位置に戻して、2 個のネジで固定します。
- 6 フロントパネル/電源ケーブルを取り付け、ラックドアを閉じます。



ポイント 取り外したベイには、新たな内蔵オプションまたはブランクユニットを必ず取り付けてください。

第5章 電源ユニットの取り付け / 取り外し

この章は、本装置への電源ユニットの取り付け方法を解説しています。
本装置は、電源ユニットを標準で1台搭載しており、オプションの電源ユニットを1台を追加することにより、冗長電源機能が有効となります。

警告

感電



- 電源ユニットの取り付けや取り外しを行う場合は、本装置および接続している装置の電源を切り、電源ケーブルを本装置から抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。
ただし、冗長電源機能がサポートされている状態で故障電源を交換する場合は、電源が入っていても交換できます。
- 電源ユニットは分解しないでください。感電の原因となります。

禁止



- 弊社の純正品以外のオプションは取り付けしないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 内部のケーブル類や装置を傷つけたり、加工したりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。

指示



- 電源ユニットの取り付け / 取り外しを行う場合は、担当保守員に依頼してください。

注意

- 電源を切った直後は、装置内が熱くなっています。内蔵オプションの取り付けや取り外しを行う場合は、電源を切ったあと10分程待ってから、作業を始めてください。
- この章で説明している以外の取り付け方や分解を行った場合は、保証の対象外となります。



ポイント

故障した電源ユニットは、できるだけ早い機会に交換してください。

5.1 電源ユニットの取り付け

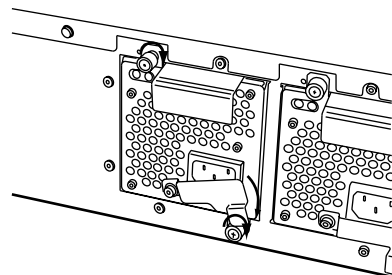
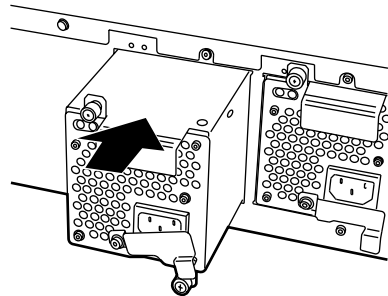
ここでは、電源ユニットの取り付け手順について説明します。



電源ユニットの取り付け時は、電源ユニット裏面のコネクタピンおよびサーバ本体側のコネクタピンが破損または曲がっていないことを必ず確認してください。

取り付け手順

- 1 ラックドアを開け、サーバおよび本装置の電源を切断し、電源ケーブルを本装置から取り外します。
- 2 電源ユニットスロットカバーを取り外します。
電源ユニットのスロットカバーの2箇所ネジを取り外し、スロットカバーを取り外します。
- 3 電源ユニットを取り付けます。
電源ユニットを持ち、電源ユニットスロットに対しまっすぐに差し込み、静かにスライドさせます。
- 4 電源ユニットを固定し、電源ケーブルを接続します。
電源ユニットを2箇所のネジで固定し、ネジカバーをスライドさせて、電源ケーブルを接続します。



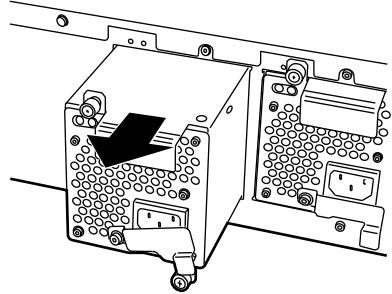
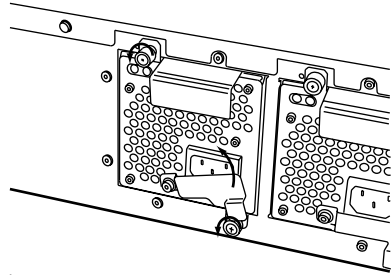
5.2 電源ユニットの取り外し

ここでは、電源ユニットの取り外し手順について説明します。

取り外し手順

- 1 ラックドアを開け、サーバおよび本装置の電源を切断し、電源ケーブルを本装置から取り外します。
- 2 電源ユニットを取り外します。
ネジカバーをスライドさせ、2箇所
のネジをゆるめます。

電源ユニットを持ち、電源ユニット
スロットに対しまっすぐに手前
に引き出します。



ポイント

取り外した電源ユニットスロットに、新たな電源ユニットを取り付け
ない場合は、電源ユニットスロットカバーを取り付けて
ください。

5.3 電源ユニットのホットスワップ交換

電源の冗長機能が有効となっているときに1台の電源ユニットが故障した場合には、本装置の電源を切断せずに、故障した電源ユニットの交換ができます。電源ユニットを取り外した後、新しい電源ユニットは必ず取り付けてください。

- 1 ラックドアを開けます。
- 2 故障電源ユニットのFAULTランプ(アンバー)が点灯し、POWERランプ(グリーン)が消灯していることを確認します。
- 3 故障電源ユニットの電源ケーブルを取り外します。
- 4 故障電源ユニットを取り外します。
(「取り外し手順」(23ページ)の手順2参照)
- 5 新しい電源ユニットを取り付けます。
(「取り付け手順」(22ページ)の手順3および手順4参照)

第 6 章 トラブルシューティング

本装置を操作してみて、うまく動作しない場合や「故障かな?」と思ったときには、以下のことを確認してください。

なお、オプションの装置については、オプション装置に添付の取扱説明書を参照してください。

6.1 トラブル内容

媒体の読み書きができない。

- 媒体の表裏を確認して正しくセットしてください。
- ヘッドが汚れている場合、クリーニング媒体でクリーニングしてください。
- 書き込みができない場合は、ライトプロテクタを書き込み可能な位置にしてください。

フロントパネルの電源故障ランプが点灯している。

電源ユニットの電源ユニット FAULT ランプが点灯している。

- 電源の故障です。当社担当保守員に連絡してください。

内蔵オプション装置増設時に、デバイス（装置）が認識できない。

- 内部 SCSI ケーブルは接続されていますか。
- 内部電源ケーブルは接続されていますか。
- 追加デバイス（装置）の SCSI-ID の設定を確認してください。